

# 関 市 議 会

## 令和8年第2回定例会

(令和8年6月16日・17日・18日・19日)

### 代 表 質 問 順 序 表

順序	議席	氏 名	会 派 名	
1	17	浅野 典之	新政クラブ	16日午前～
2	14	足立 将裕	市議会公明党	16日午後～
3	7	田中 巧	清流クラブ	16日

### 一 般 質 問 順 序 表

4	22	石原 教雅		16日
5	13	栗山 守	若草クラブ	17日10:00～
6	21	猿渡 直樹	日本共産党関市議員団	17日
7	16	市川 隆也	市議会公明党	17日午後～
8	12	土屋 雅義	若草クラブ	17日
9	20	小森 敬直	日本共産党関市議員団	17日
10	15	幅 永典	市議会公明党	18日10:00～
11	2	安達 克也	清流クラブ	18日
12	6	長瀬 敦久	新政クラブ	18日午後～
13	11	長尾 一郎	新政クラブ	18日
14	9	林 裕之	新政クラブ	18日
15	10	武藤 記子	新政クラブ	19日10:00～
16	1	川合 治義		19日
17	5	北村 隆幸	新政クラブ	19日午後～
18	4	岩出 和也	新政クラブ	19日

## 代 表 質 問

### 新 政 ク ラ ブ

議席 17 番 浅 野 典 之

#### 1 合併検証報告書について

- (1) 人口減少の現状をどのように分析し、地域ごとの課題に応じた人口対策の考えは
- (2) 財政状況の推移と今後の財政運営は
- (3) 財政支援措置の活用状況と今後の地域振興基金の活用は
- (4) 新市建設計画の成果と課題を今後どう活かしていくのか
- (5) 行政サービスの均質化と地域特性を踏まえた行政サービスの再構築を進めていくことが必要では
- (6) 合併後の市民意識の変化をどのように捉えているか
- (7) 令和の合併について、国の動向と広域行政の諸課題を踏まえて本市の考えは

#### 2 中東情勢による市民生活、地域経済、公共事業への影響と本市の対策について

- (1) 市民生活、地域経済への影響をどう認識しているか
- (2) 市の支援策は

#### 3 本市の A I 活用と課題について

- (1) 本市の業務における活用状況と今後の課題は
- (2) A I ガバナンスの構築は

## 代 表 質 問

市 議 会 公 明 党

議席 1 4 番 足 立 将 裕

- 1 市町村合併 20 年の検証結果を踏まえた次期第 6 次総合計画の策定と深刻化する高齡化や社会情勢の変化から市民生活を守る対策について
  - (1) 合併検証結果が示す地域間格差等と次期総合計画への反映について
    - ア 財政特例終了後の財政健全性と自主財源の確保は
    - イ 旧町村部（過疎・高齡化地域）の持続可能性と新たな地域経営は
    - ウ 予測を大幅に超える人口減少と旧町村部の高齡化への危機認識は
    - エ 民間介護・医療サービスの撤退・縮小に伴う生活インフラ格差の是正策は
    - オ 合併検証結果をどのように第 6 次総合計画に反映させるのか
  - (2) 社会福祉法改正を見据えた、地域における「頼れる身寄りがいない高齡者等」への公的支援体制の構築について
    - ア 本市における数値の把握は
    - イ 社会福祉協議会や地域包括支援センターの体制強化は
    - ウ 終活支援パッケージ等、市独自モデルの創設は
  - (3) 社会情勢の変化から市民生活を守る対策について
    - ア 中東情勢に伴うナフサ不足が行政運営及び市民生活に与える影響は
    - イ 指定ごみ袋の安定供給は
    - ウ 指定ごみ袋の次期発注における製造コスト高騰と市民負担への影響の有無は
    - エ 樹脂・プラスチック系資材の高騰に伴う公共工事の入札不調リスクと市内業者への支援は
    - オ 市独自の資材・燃料高騰対策は
  - (4) 第 6 次総合計画の策定について
    - ア 第 5 次総合計画の基本構想の振り返りは
    - イ 第 5 次総合計画の想定と検証報告書が示す厳しい現実のギャップをどのように認識しているか
    - ウ 化石燃料依存からの脱却に向けた基本方針は
    - エ 市長の掲げる「共創」の具体的制度設計は
    - オ 公共施設保有量削減の数値目標は
    - カ 持続可能な新しい本市のランドデザインと市長の決意は

## 代 表 質 問

清 流 ク ラ ブ

議席7番 田 中 巧

- 1 救急医療体制の充実について
  - (1) 近隣医療機関との連携は
  - (2) 医師確保と勤務環境の整備、在宅医療の推進は
  - (3) 市民への適正受診の周知や理解促進の方策は
  
- 2 防災と医療の一体的な危機対応策について
  - (1) 災害時における医療体制は
  - (2) 大規模な避難訓練がなくなり、最優先すべき課題は
  - (3) 市民への情報発信や避難行動に関する施策の推進は
  
- 3 子どもを取り巻く環境と児童虐待防止について
  - (1) 学校と地域の連携の現状と課題は
  - (2) 子育て家庭への支援策は
  - (3) 福祉・教育・医療など関係機関の連携強化は
  
- 4 介護保険事業について
  - (1) 介護認定者数の将来推計と介護給付費の見通しは
  - (2) 予防施策の取組状況と効果および今後の強化策は
  - (3) 介護職の人材確保の考えは
  
- 5 基金運用と財政流動性の確保について
  - (1) 即時対応可能な資金の規模は
  - (2) 今後の方針と流動性低下リスク回避の考え方は
  - (3) 債券購入に至った背景と今後の対応は

## 一 般 質 問

議席 22番 石 原 教 雅

### 1 市内の交通渋滞と対応について

- (1) 渋滞状況と具体的解消策は
- (2) 中濃各務原尾張北部連絡幹線道路構想と本市都市計画は

### 2 本市が抱えている収益事業について

- (1) 令和8年第1回定例会で提供された令和8年度当初予算トレンド資料の意図は
- (2) 市町村合併して20年経過するが、合併当時における必要性と課題の考察は
- (3) 合併時からの収益事業経営課題について、事業主体である市として現在に至るまでの対応と収益事業の収支は
- (4) 事業主体である市は、今後も実質大幅欠損を続ける収益事業を維持し続けるのか

## 一 般 質 問

議席13番 栗山 守

### 1 関市ビジネスサポートセンターの運営について

- (1) 運営に関わって、この10年間に市が投入した総額は
- (2) 市内中小企業の収入アップを目的として開設されたが、その目的は達成されたのか。また、他への波及効果は
- (3) 残された課題は
- (4) 見直しの時期となっているが、どう対応されるのか

### 2 木造住宅耐震化対策について

- (1) 本市における耐震化進捗状況は
- (2) 熊本地震および能登半島地震における木造住宅被害状況を受けて、昭和56年から平成12年までの間に建築された木造住宅に対する市の見解は
- (3) 他市の動向は把握しているか
- (4) 昭和56年から平成12年までに建築された木造住宅を対象に耐震診断を実施すべきでは

## 一 般 質 問

議席 21 番 猿 渡 直 樹

### 1 公民センター廃止の影響について

- (1) 廃止による施設の公共性の喪失をどう考えるか
- (2) 現在の管理運営体制や公民センターが無くなった地域の動向は
- (3) 廃止の影響の調査を

### 2 保育所の定員数について

- (1) 現在の保育所定員充足率をどう考えるか
- (2) 少子化への対応は公立保育所廃止による定員数削減だけでよいか
- (3) 小規模保育所の必要性をどう考えるか

### 3 合特法事業の新たな協定について

- (1) 令和 8 年度からの協定内容と事業委託の状況は
- (2) 残された課題への取組方針は

### 4 医療機関等への物価高騰対策について

- (1) 市内の医療機関等への支援で「歯科技工所」を対象外とした理由は
- (2) 県と同様に「歯科技工所」を支援対象とするのが望ましいのでは

## 一 般 質 問

議席16番 市川隆也

- 1 自治会加入率低下への対策について
  - (1) 令和7年度の加入率は
  - (2) 加入率向上に向けた対策
    - ア 負担軽減見直しの進捗状況は
    - イ 業務や役割の変更内容は
    - ウ 実施時期は
  - (3) 今後の課題は
  
- 2 敬老事業の見直しについて
  - (1) 100歳祝金・敬老祝品
    - ア 見直しの趣旨は
    - イ 内容は
  - (2) 長寿のつどい
    - ア 見直しの趣旨は
    - イ 内容は
    - ウ 自治会からの問合せは
  
- 3 道路交通法改正による車の時速30キロ規制について
  - (1) 9月1日からの改正内容は
  - (2) 生活道路の定義は
  - (3) 市民へのプラスの影響は
  - (4) ドライバーへの影響は
  - (5) 公安委員会・道路管理者の対応は
  - (6) 今後の課題は

## 一 般 質 問

議席 1 2 番 土 屋 雅 義

- 1 小学生の早朝の居場所づくりについて
  - (1) 小中学校教員の出勤時間は
  - (2) 保護者の送迎で早朝登校する児童数は
  - (3) 早朝登校のニーズ調査の実績は
  - (4) 早朝の居場所づくりの検討をすべきでは
  
- 2 中学校及び関商工高校の部活動の遠征について
  - (1) 現状把握はできているのか
  - (2) 道路運送法違反を疑われる事例はあったのか
  
- 3 カスタマーハラスメントについて
  - (1) 市役所における現状は
  - (2) 市役所における対策は
  - (3) 労働施策総合推進法の改正後の取組は
  - (4) 防止条例を制定しては

## 一 般 質 問

議席20番 小 森 敬 直

### 1 中東情勢に伴う、暮らしと営業を守る対策について

- (1) 市独自の物価高騰対策は
- (2) 市内中小企業・小規模事業者への支援策は

### 2 P F A S 汚染対策について

- (1) ろ過装置の効果は
- (2) 汚染されている地域の状況把握は
- (3) 対象地域住民の血液検査等に補助を

### 3 保戸島橋の撤去について

- (1) これまでの橋の活用状況は
- (2) 撤去に至った経緯は
- (3) 改修、新設、撤去の費用対効果は
- (4) 撤去方針の決定は住民に伝わっているのか

### 4 熱中症対策について

- (1) 子ども達の通学時にネッククーラーの活用を
- (2) P T A や保護者からの要望はあったか
- (3) 保護者の要望を調査してはどうか

## 一 般 質 問

議席 15 番 幅 永 典

- 1 来たくても来られない若者の視点に立ったユースセンターの在り方について
  - (1) 設置の目的と対象者は
  - (2) 来たくても来られない若者への市の認識は
  - (3) 来たくても来られない若者との接点づくりの考えは
  - (4) 関市こどもの権利条例（案）の理念をどのように実現していくのか
  
- 2 東山西田原線整備計画について
  - (1) 予備設計の位置づけは
  - (2) 都市計画道路としての必要性・妥当性は
  - (3) 未整備区間約 1.2 km 及び津保川橋梁整備の具体的方針は
  - (4) 広域交通ネットワークとしての位置づけは
  - (5) 財政負担及び優先順位の考えは
  - (6) 今後のスケジュール及び完成時期は
  - (7) 住民説明及び合意形成への取組は

## 一 般 質 問

議席2番 安達克也

### 1 クマ被害と対策について

- (1) これまでの市内でのクマ目撃状況は
- (2) 具体的な被害は発生しているか
- (3) 目撃情報が寄せられた場合の対応は
- (4) クマ被害に対する安全対策と今後の取組は
- (5) パトロールや駆除にあたる関市猟友会との連携や支援は

### 2 水難事故防止について

- (1) 過去3年間の市内での水難事故発生件数と死者数は
- (2) 近年の水難事故の特徴などはあるか
- (3) 水難事故が起こる主な要因はどこにあると考えるか
- (4) 夏のシーズンを迎えるにあたり水難事故を防止する対策は

### 3 高校生の遠征バスについて

- (1) 磐越自動車道のバス事故を受けて、市内の高校での遠征バスの利用状況は
- (2) 本市における遠征バスの課題と対策は

1 学校選択制について

- (1) 隣接区域選択制の利用者数と小規模特認校制説明会の出席者数及びその評価は
- (2) 隣接区域選択制及び小規模特認校制の保護者への具体的な周知方法は
- (3) 隣接区域選択制及び小規模特認校制の目的と魅力発信について
  - ア 本市が目指す学校選択制の意図と学校の「特色ある教育活動」との連動性は
  - イ 各校の特色を保護者や児童生徒へ広める必要性の見解は
- (4) 地域連携と教育課程の再編について
  - ア 魅力を高める教育課程編成の状況は
  - イ 教育課程の見直しによる指導の深化と教員の負担軽減の両立は
- (5) 他地区からの入学と通学環境の整備、保護者負担の軽減について
  - ア 8月までの受付期間を12月まで延長しては
  - イ 始業前と放課後の「児童預かり所」など、共働き家庭の負担を減らす環境整備は
  - ウ 他地区からの通学を可能にするため、バス時刻や学校始業時刻などの調整は

2 関市公立保育所適正化計画（案）について

- (1) 小規模特認校制を実施する小学校と保育園閉園との整合性について
  - ア 富野保育園の閉園が小学校の児童確保や地域活性化に与える影響は
  - イ 小規模特認校制による児童受入れと、富野保育園のあり方の検討は
- (2) 保育の質について
  - ア 大人数における幼児のストレスと少人数における幼児の適応性は
  - イ 公立保育所の「自然体験活動」実践の継続は
  - ウ 富野保育園は閉園ではなく、残すべきモデル園では
- (3) 存続策の検討について
  - ア 認可定員の見直しの検討は
  - イ 地域子育て支援拠点、一時預かり、こども誰でも通園制度などの機能が充実した施設として存続させる可能性の検討は
  - ウ 閉園案と存続案について、財政面及び地域への影響の比較検討は
- (4) 「住民の声」の受け止めについて
  - ア 保護者や地域住民から寄せられた存続を求める意見の受け止めは
  - イ 地域の将来や若い世代の定住に与える影響にかかる意見をどのように反映するか
  - ウ 今後地域住民との対話をどのように進めていくか

## 一 般 質 問

議席 1 1 番 長 尾 一 郎

### 1 ふるさと納税について

- (1) 昨年度の寄附の実績は
- (2) 昨年度の寄附の傾向や今後の見通しは
- (3) 寄附を増やすための市の取組と効果は
- (4) 寄附の具体的な用途は

### 2 関市 I C T 推進アクションプランについて

- (1) 取組状況は
- (2) 次期アクションプランの目標と取組内容は

### 3 小瀬鵜飼について

- (1) 昨年度の実績は
- (2) 課題と対策は
- (3) 造船事業の現状と見通しは
- (4) 船頭不足への対策は

### 4 S D G s の推進について

- (1) S D G s と総合計画との関わりは
- (2) どのような目標を掲げ、どのように評価しているか
- (3) さらなる推進のために推進本部を設置しては

## 一 般 質 問

議席 9 番 林 裕 之

- 1 関市公共施設再配置計画及び関市過疎地域持続的発展計画の整合性は
  - (1) 地域事務所やふれあいセンターの整備が進んだ一方、自治会組織や住民自治が限界を迎えている。公民センターの廃止や譲渡がその流れをさらに加速させているのでは
  - (2) 過疎債の有効活用にかかる市民との合意形成はどのように行われたのか
  - (3) 2つの計画の政策目的のズレが現場で矛盾を生んでいないか。本市の認識と今後の改善方針は
  
- 2 本市のスポーツ振興について
  - (1) 中池公園を中心とする主要スポーツ施設の老朽化が進む中、計画的な長寿命化と更新・統廃合をどのように進めていくのか
  - (2) 部活動の地域移行に伴う課題と具体的解決策は
  - (3) 4月1日付人事異動で、スポーツ協会に職員を派遣したその目的と期待される役割は
  - (4) スポーツ協会とスポーツ推進課の役割分担はどのように整理されているか
  - (5) 市民の健康づくりや生涯スポーツ推進のため、次期関市スポーツ推進計画の方向性は
  
- 3 鳥獣保護法の改正について
  - (1) 先月のクマの目撃情報とその対応は
  - (2) 法改正を受けて「関市鳥獣被害防止計画」の見直しと捕獲体制の強化策は
  - (3) 猟友会の高齢化・担い手不足に対し資格取得支援・装備補助・ICT導入など本市独自の支援策は。さらに、支援策を拡充していく方針は
  - (4) 耕作放棄地の増加や里山のバッファゾーン消失が鳥獣害を悪化させている現状を踏まえ、緩衝帯整備への助成を拡充しては

## 一 般 質 問

議席10番 武藤 記子

- 1 不登校児童生徒への多角的な支援体制と今後の具体策について
  - (1) 各支援策の役割分担は
    - ア 教育委員会の不登校対策は
    - イ 子ども家庭課の不登校対策は
  - (2) 支援方針や支援内容は誰が判断し決定しているのか
  - (3) 各支援の連携は出来ているのか
  - (4) 支援の成果の着地点は
  
- 2 板取地域における教育施設閉鎖後の地域振興について
  - (1) 教育施設閉鎖による地域への影響は
  - (2) 子育て世代に対する地域内での支援は
  - (3) 旧板取小学校の利活用は
  - (4) 板取ふれあいのまちづくり推進委員会の役割は
  - (5) 板取地域の将来像についての考えは
  
- 3 市と教育委員会の後援名義の使用許可について
  - (1) 許可をすることによる効果は
  - (2) 申請件数と許可・不許可の状況は
  - (3) 申請時における審査は
  - (4) 許可後に申請内容との相違が確認された場合の対応は
  
- 4 板取川河畔における川遊び利用等の安全対策について
  - (1) 川遊び利用等の実態を把握しているか
  - (2) 関係団体等との連携体制及び現行の対応状況と規制強化は
  - (3) 他自治体における河川区域でのキャンプ禁止条例や利用規制の事例は
  - (4) 清流板取川の環境保全と地域住民の生活環境を守る規制を含めた今後の対策は

## 一 般 質 問

議席1番 川 合 治 義

- 1 富野小学校の就学希望者向け学校説明会について
  - (1) 参加者がなかったことについて教育委員会の見解は
  - (2) 小規模特認校制の優位性をもっと打ち出しては
  
- 2 長良川鉄道の運賃収受をスムーズにする改善について
  - (1) 車載の運賃収受機の利用実績は
  - (2) 乗降時の混雑について高校生や乗務員からの苦情や要望は
  - (3) 高校生の乗降客が多い駅では簡易 I C 改札機を導入しては
  - (4) 車内精算で運賃収受機を交通系 I C カードに対応させては
  - (5) 大学生や観光客のためにも交通系 I C カードの相互利用サービスを活用しては
  
- 3 テレビ難視聴地域について
  - (1) 洞戸、板取、武芸川、武儀地域にケーブルテレビサービスが提供されていないことの経緯は
  - (2) テレビ視聴環境維持のための今後の方針は
  
- 4 映像作品撮影事業補助金2,000万円の返還請求訴訟について
  - (1) 訴状のとおり判決を求めることに変わりはないか
  - (2) 和解の可能性について、市はどの程度現実的な選択肢として認識しているのか
  - (3) 和解する場合、市は主要な条件を検討する段階から議会へ報告するのか

# 一 般 質 問

議席5番 北村隆幸

## 1 児童発達支援について

- (1) 児童発達支援に至る流れと現状は
- (2) 親子教室の現状の評価と課題は
- (3) 親子教室の支援回数減少に対する対応策は
- (4) 5歳児健診の検討状況は
- (5) 5歳児健診の開始により、療育的な支援が必要な幼児が現状よりどのくらい増えると想定しているか。また、その受け皿は
- (6) 民間保育園の療育的な支援が必要な幼児の受入れ状況は
- (7) 療育的な支援が必要な幼児への保育士等加配の基準と金額は
- (8) 公立保育園における増加する療育的な支援が必要な幼児の受入れの対応策は
- (9) 南ヶ丘保育園と富野保育園の小規模公立保育園での療育的な支援が必要な幼児の保育とインクルーシブな保育の状況と評価は
- (10) 南ヶ丘保育園と富野保育園の小規模公立保育園に児童発達支援事業を設置し、保育園と児童発達支援事業の多機能型保育園としての運営を検討しては

## 2 次期総合計画の策定における「関市民独自の幸福（ウェルビーイング）」を柱にした行政経営システムの導入について

- (1) 市長の掲げる関市民の「幸せ」の指標と、それはどのように市政運営サイクルに反映しているか
- (2) せきのまちづくり通信簿の10年間での変化は
- (3) せきのまちづくり通信簿では、未来への希望や幸福感を下げる要因の実態の把握ができないのでは
- (4) 次期総合計画の策定方針とスケジュールは
- (5) 市民意見聴取における「市民参加の手法」の改善は
- (6) 「未来への希望」や「幸福を阻害するリスク」を可視化する「関市民独自の幸せ」を明らかにする独自調査を実施しては
- (7) 次期総合計画への「ウェルビーイング成果指標」を導入し、成果指標と連動した予算編成・行政評価システムを構築しては

## 一 般 質 問

議席4番 岩出和也

- 1 本市の基盤としての林業政策について
  - (1) 本市の文化と森林との関係は
  - (2) 本市の商工業と森林との関係は
  - (3) 本市の特徴も踏まえた林業政策の課題は
  - (4) 木育の重要性と今後の取組予定は
    - ア 木育の重要性と効果をどのように考えているか
    - イ 全天候型屋内遊び場施設への活用は
    - ウ 取組の推進体制は
  
- 2 こども・若者の育ちをさらに高める具体的実践について
  - (1) 未就学児の育ちをさらに高めるための環境について課題をどのように認識しているか
  - (2) 課題解決のためのロードマップと予算編成への意気込みは